

未来に向かって 自ら羽ばたける北っ子！

～考え動く 人とつながる 未来を創る～

広島を訪れて・・・

今年度から、旅行先を広島・宮島に変更し、5月22日（木）～23日（金）に修学旅行を実施しました。

姫路駅から新幹線で広島に向かい、名物「広島焼き」を食べた後、路面電車で平和公園に到着しました。原爆ドームを目の前にした瞬間から、子ども達の表情も一変しました。

平和資料館の中は様々な国の人達で大変混雑していましたが、とても静かな、重い空気が感じられる空間でした。その中を、子ども達は懸命にメモを取りながら見学して回りました。

資料館見学の後は、平和ガイドさんにお世話になり、平和公園内の慰霊碑を巡りました。子ども達が深く感じ入ったのは、「被ばくアオギリ」と「広島二中原爆慰霊碑」のお話でした。

広島二中の生徒を含め、当時多くの中学生が建物疎開に動員されており、原爆はその頭上で炸裂、6,000人も生徒達が命を落としました。

千羽鶴に思いを込めて



広島二中慰霊碑には多くの犠牲者の名前が刻まれていました。小学6年とは学年が一つ違うだけの方達です。資料館に展示されている黒焦げのお弁当箱の持ち主、折免滋さんの名前もそこにありました。しかし、数名の生徒の名前が慰霊碑から削られ、消されていたのです。

ガイドさんの話によると、連日の建物疎開で体調を崩し、その日作業を休んだことで生き残った生徒さん達がいて、慰霊碑が建立された後、そのことが判明し、慰霊碑から名前が

消されたのだそうです。長い間、作業を休んで自分だけ生き残ったことを悔い、名乗り出ることができなかった方の思い、そして、何が起こったのかもわからず、一瞬にして亡くなった犠牲者の方々のことを聴き、なんともいたたまれない気持ちになりました。また、疲れが抜けず休みたがる我が子を奮い立たせ動員へ送り出したことによって原爆の犠牲になってしまったと悔いるご家族の思いも伺い、なんとつらいできごとだったのかと改めて平和の大切さを感じた時間でした。その後、原爆の子の像の前で平和セレモニーを行い、6年生を中心に全校生で折った千羽鶴と、地域の方にいただいた千羽鶴を奉納してきました。この夏で戦後80年を迎えます。6年生の子ども達の胸にも、たくさんの思いが届いたことと思います。



原爆ドーム



広島二中原爆慰霊碑

宮島



広島焼き

